





人部長  
仮屋

は美しいものでした。かき作りと穂作りがよきも止比例しない私共の水稲栽培のうまき行かない欠点について面白い質問が繰出しました。

次にてん菜の圃場を見学その用途等詳しく指導して置き肥料の使い分けによつて収穫量の異なる甘藷畑を見学いたしました。が何れにしても考える農産経営の必要を強く感じました。

おしまいに蔬菜園の方に行き試験作された野菜の比較及び早生甘らんの栽培法と晩生の作り方のコツ等について詳しく指導して戴きました。最後に菊やカーネーションの作り方について指導を受け、お

今年は私共の意圖をよくお汲下さつた農協側と旅費の一部の助成を心よくおきゝ入れ下さつた町当局に対してこれだけで深甚の感謝を捧げる次第です。

農協婦人部の使命は

- 1、農協事業の推進
- 2、農業技術経営の改善
- 3、農家生活の改善
- 4、農村文化の向上
- 5、農家婦人の経済的、社会的地位の向上

であれば私共婦人部員は、組織の力を以て農村不況打開策を研究し一日も早く大根古町を住みよい村に建設する様努める必要を感じゐる次第です。

**11月の農作業**  
 菅農相 啓室

に畦巾をなるべく広くし畜力を利用してできるようにして下さい

肥料は元肥に堆肥一二〇〇キログラム、金肥は成分量で窒素一キログラム、硫酸六キログラム、加里四キログラムとし、追肥は一月中旬と二月下旬それぞれ窒素一・五キログラムを施して下さい。

【なたね】 今年は種まきがおくれ生長がおそいので管理を充分気をつけよい苗を作して下さい。

よい苗は、節間の短い根元のがつちりしたもので細い根がたくさんついていて活書のもの、です。

肉豚共同出荷の話

肉質

も

農協の肉豚共同出荷は肉質による価格の違いはありますが、取引が公平に行われる最良の方法です。飼育管理により肉質の向上と発育をよくするために優良豚を飼育し生産することが最も肝要で、大根占豚の名声を高く評価するには共同の力で改善しなければならぬことが山積しています。

まず共同出荷については10月18日

出荷の最高最低と平均に最も近いものを例にとり説明します。

30号前迫トヨ、31号垣内不二男  
35号四本銀十氏の方で、出荷は耳  
標番号と生体斤量だけを郡連合会  
を通じ、東京芝浦に出荷されます  
芝浦では番号によつて、枝肉量と  
単価の連絡が郡連合会にあり、郡  
連は精算代金を農協へ振込むわけ  
です、経費は各農協から、鹿屋駅

大厚……………大實と厚脂肪のもの……  
 ……標準より9円〜12円安  
 大々……………最上實のもの……………標準  
 より15円安  
 大……………大實で枝20ペ以上のもの  
 ……標準より10円〜15円安  
 カリ……………發育不良で脂肪肉の乏  
 しいもの……………標準より5円〜13  
 円安  
 黄……………脂肪の色が黄色いもの……  
 ……標準より8円〜24円安  
 小……………小實で枝10實以下のもの  
 ……標準より5円〜7円安  
 厚……………脂肪の厚いもの（大体4  
 枚以上）……………標準より5円〜10

生体量 斤	枝肉量 g	枝 肉 代		経 費	
		単価 円	金 額	斤 当	金 額
125	14.4	100g当 93	13,392	11.04	1,380
113	11.7	//	10,881	//	1,248
133	21.9	厚 88	19,272	//	2,076

計算のし方 (枝肉量×単価) - (生体斤量×斤当経費) =  
手取総額÷生体斤量=生体斤当手取額

畜産市		最高	最低	平均	総平
	◎肉豚共同出荷				※行楽
	10月18日 9頭出荷 計115,000円				◎子牛
	1斤当最高96円 最低85円				79頭
	平均 90円60銭				総売上
	(いずれも農家手取価格)				
	◎子豚せり市				最高 42
	11月3日 35頭 内売却10頭				最低 14
	めす おす				平均 27
	最高 2,500円 3,500円				総平
					※有畜

な駒に大きな乳房を持った乳牛をみて、之又びつくりいたしました次に水稲と飼料として植えてあるたくさんのお草を見ましたが最も感心したのは水稲の莖だけに對して穂首が大きく然も粒数が多くて粒が大きく黄金色にみのつた情景

互いが今後の當農改善について多くの知識を学び得たことは視察一行の大きな収穫だつたと思います

冬作となれば菜種と麦、夏作は甘藷と稲の二色にいろどられる大板占の農産経営を大いに改善すべき必要はお互い脳裏深くきざみ乍

【むぎ】 種まきの早い、おそいで収かく期も違つてきます。  
早期水稻の前作では、今月の一五日から二〇日までにはまき終るようにしませう。品種は鹿児島県裸作式は労力の節約を考えて、中耕除草のしやすいよう

間引きは早目に本葉二―三枚のとき第一回、四―五枚のとき第二回をやるようにして下さい。

移植は二月一日ごろまでに終るようにし、植付本数は反当三―四〇〇〇本、あまり密植にならぬようにして下さい。

キンカク病がはげしくでるところでは畦巾一五〇センチに四五センチの条間とした復条とし、株間三〇センチに植う付けておくと葉部配布に便利で、また間にエン麦やルーピンも作れます。

※甘藷の收かくは適期に

人ついて行く。郡農協の手数料（斤当り郡連合会50銭、農協手数料1円50銭）となつています。なお落陽（値の安いもの）内訳は玉付……種牡豚あがり罌丸つきのもの……標準より16円～25円

月手取額	生手 手取	体り金 当取	備考
円 12,012	円 96.09	銭 最	高
9,633	85.24	最	低
17,196	91.47	平	均
手取総額			

**況**

000円 2,500円  
均 2,430円  
と、買手少かつた。  
り市 10月31日  
うち売却60頭  
1,799,300円  
す おす  
00円 22,107円  
200円 13,000円  
63円 16,331円  
22,776円  
金貸出で高値を呼んだ

## 共同出荷で農産物価の安定を

価格の動きについて分析や見とおしを収録してありますが、ここにその各作物の見とおしなどの分を摘録しました。

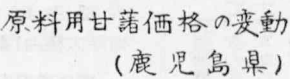
※農業経済

農産物価格の動きは前年より少し上回り、米、麦などの主要農産物は直接開港の政府の価格支持で変動が少く、牛乳、鶏卵、なたねりんご、葉菜類で生産の伸びが大きく、消費が追いつかないものは値下りがはげしかった。

○農業生産資材の価格は、農業生産物と同じく一般物価の値下りにもかゝるが、前年を上まわつた。これは農業生産が他産業の生産調整とは違つて、相変らず牛乳上昇への努力を続けているので生産資材に対する需要が強いためである。

○農産物に対する需要は相変らず確実な増加をみせるであろうが、伸びはそう大きくないものとみられる。

○33年度の農業生産は、生産自体としては伸びても、価格の低下気味のため、生産額としてはわずかな伸びにならう。反面、農薬用品



なる見込である。しかし北海道は16%近くの増収とみられるので市場出まわりは増加しよう。

輸入は、中国大豆が現在貿易再開の見とおしがつかず、今期はないとみてよいが、アメリカは大豆増産の見込みで輸入価格もかなり下落しよう。したがって、今期における国産大豆への需要は、アメリカ大豆の食品用への振り向けがあるとしても、かなり強いものとみられ、農村価格は前年よりはやや高目とみられる。

本県の生産はほとんど自給用であるが、今後品種の選定、商品性

上旬が有利とみられる。

ささいの市場は、近年とくに変動がはげしくなり、価格の変化も激しくなっているので、次のような事項に留意すべきである。

- 一、一時的な価格の変動に迷わされず、適地適産で良質物の量産につとめる。
- 二、販売先を確定し、その需要に応じた生産を行う。
- 三、重点種類別に集團産地を育成し、産地体制を確立する。
- 四、生産から販売まで共同の力を利用し、出荷調整によって価格を安定させ中間経費を節約する。

反当最高は水口さん  
＝葉たばこ前期収納＝  
三三年産葉たばこの前期収納は一〇月一六日から二、三、七六万円の代金が支払われた。成績は一キロ口当三三五円と予想を幾らか下まわり、後期までいれて代金総額は昨年より五〇〇万円ほど上まわり九、五〇〇万円前後になるものとみられています。なお、後期収納は、一二月二

日から二六日  
まで二四日間  
行われる。  
※前期収納実  
績  
人員 一三一  
名 面積 三  
〇町 量目  
七〇九一四キ  
ロ 代金 一三七六万四六一〇円  
キロ当り 三三五円  
反当り 一三六キロ七九〇九四円  
⑤ 反当最高額取得者  
水口正助さん(瀬戸山)  
反当り二八一キロ

千口当り三八六円  
 一〇八、五四〇円  
 ④代金最も高取得者  
 永田 武彦さん（鳥浜）  
 三反五畝 八九七キロ  
 三四、六七五円



の申告納税見積額が、第一期のときの見積額より少くなると思われる人は、一月一日までに更正請求をすることができまゝす。

◎二月予定申告

今年、新しく事業を開始した場合、一月一日の現況で、総所得金額が、基礎控除（九万円）と扶養控除（二人のとき七万五千円）の合計をこえるとき、

または、一月一日の現況で、前払税見積額が、予定納税基準額をこえるとき（所得が増加したときは三〇日まで）に一月予定申告をすることになります。

くわしいことは、庶民税務署か場の税務課に問合せて下さい。

【甘 藷】 9月下旬の早場物は賞当り30円前後で出まわり、昨年と同程度の高さで出売した。また、10月1日をもつて、本年産甘藷の政府支持価格<sup>51</sup>は10貫当り25円と、昨年と一昨年24円より引き上げとなつた。したがつて、本年も昨年と同じような高値を予想する見方もなりたつたが、澱粉の消費がふるわないことを考えると、本年産甘藷は一昨年より高いとみることはできて

も、昨年のような高値を維持することは困難であらうとの見方が強い。安定した価格を維持するためには、まず系統を通じた共同出荷の体制を確立することが先決であり、計画出荷につとめなければならぬだろう。

【なたね】

34年産なたねは、農林省調査によれば、ほぼ33年度程度とみられ海外産油脂原料の輸入順調、安価によつて、目立つた高騰はみせな

ければならない段階となり、先行きに明るい見とおしは持つことはできないが、油脂原料は半分しか国内で自給できない現在の状況では、品種の改良、品質の改善でまだ増産をなし得る余地が大きい。今後のなたね生理の課題は品質改善と系統販売の強化にある。

【大豆】

33年産大豆の作付面積は全国的には32年より4.4%の減少である。また、9月1日現在の作況によ

多くの農家に打撃を与へたが、そのため本年は作付にかなりの調整がみられるので、昨年のようなこととはいえないものとみられる。

県外市場へ移出されるえんどう類は消費し好の上から有量であるが、かんらんは周年栽培がひろがり、12月3日の端期は解消されつつある。したがって3月下旬～5月上旬の良質物の出荷が高値を期待される。早出しの馬鈴薯は、秋馬鈴薯の増加によつて出荷時期

営農指導を統一して強力におし  
 すゝめるため、町、農協などの関  
 係機関で検討していましたが、一  
 〇月二四日、関係者が集まつて、  
 一、関係団体の長等で構成する営  
 農会議を設け、町産業の振興に  
 ついて計画の立案、実施を計る  
 こと。  
 二、営農指導を一本化して強くお  
 しすゝめ、農民に親しまれるよう  
 に、役場構内に「営農相談室」  
 を設置し、大根占、神川両農  
 協に委託して営農指導を担ぐこと。

などが決まりました。  
なお、営農相談室は、近く町公民館のある建物を改修して、四坪ほどの室とする予定ですから、遠慮なくおいで下さるよう望んでいます。

共同作業で  
サイロの詰込み

町内のあちこちで、サイロの詰込み風景がみられるようになりましたが、営農相談室では詰込みされたものが、そのままへと溜め込まれたままです。

業で能率をあげること。

2、カッターのなにところは、来年度新農機建設計画で、カッター、イモチり機の助成を計画してゐるので、部落単位で購入計画を立てること。

3、訪込時期は、できれば一〇月二日におそろくと一〇月末までに終るようすること。

4、サイロには、必ず簡単な屋根を作り、雨水の入れないようにすること。

5、イモチを食べさせ終つたら又カ、生イモとワラ等とつめてナイロの高度利用を等とつて

共済に加入していれば、どんなことがあっても安心です

農業共済組合

所得税の

更正請求と予定申告

◎一二月更正請求

第一期分の予定納税額のあつた入で、一二月一日現在で、医療費

◆各作物別のみに  
もわずかに値下りを見込まれるか  
ら、所得としては32年度をいくぶ

ん上回るであらう。

いであらう。したがつて本年産と同様な動きとみられる。油脂の消費は堅調に動くであらう。

の向上、反收増等に研究すべき余地が多いといえる。

【そさい】

ら東京までの貨車賃と飼育費（一）

.....  
 となっています。

目番	
3	
3	
3	

流感は下火になり

畜産市		最高	最低	平均	総平
	◎肉豚共同出荷				※行楽
	10月18日 9頭出荷 計115,000円				◎子牛
	1斤当最高96円 最低85円				79頭
	平均 90円60銭				総売上
	(いずれも農家手取価格)				
	◎子豚せり市				最高 42
	11月3日 35頭 内売却10頭				最低 14
	めす おす				平均 27
	最高 2,500円 3,500円				総平
					※有畜

000円 2,500円  
 均 2,430円  
 り市 10月31日  
 うち売却160頭  
 1,799,300円  
 す おす  
 00円 22,107円  
 200円 13,000円  
 63円 16,331円  
 22,776円  
 金貸出で高値を呼んだ

\_\_\_\_\_